



引き戸はアンティーク様だが建具からすべて新しいオリジナル製品。
↑板1枚違えば表情を見せるアンティーク調のガラスはフランス製



造作の本棚を設けた図書館のようなダイニング。家族が大好きな本や絵、写真を飾りたい



「ハウスランド社」の展示場
モデル住宅「風のくら」

新しいライフスタイルの提案 新感覚! 「和」と「洋」を融合させた 現代古民家の住まい

美しい自然が息づく広大な敷地に建つ
「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」。
ここは、和洋のデザインセンスを調和させた
広い土間を持つ、現代版の古民家。
古民家風の家をお考えの方、必見です。

和洋ミックスの現代的な 古民家と土間のある暮らし

たとえ新築であっても、古民家のような落ち着いた雰囲気を持った空間とか、「10年、20年先に味わいを増す空間」を、と願う人が増えている。そういうご夫婦にぜひ見えていただきたいのがこちら「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」だ。
ご覧のとおり、築140年にな

る茅葺屋根の古民家をリノベーションした外観は、周辺の木立や草花と馴染む和の趣である。だが、引き戸を開けて入ると中の雰囲気は一転、テラコッタ風のタイルを敷き詰めた30畳にもなる土間が広がっているから目を見張る。料理や食事を楽しむキッチンコーナー、読書を楽しむたくなるような薪ストーブのコーナー、そのすぐ横には音楽を楽しむコーナー……と、土間を中心に

様々な暮らしのイメージが広がっていき。
細かい部分までこだわりが行き届いたデザインもまた秀逸。歴史を感じる太い梁や柱に漆喰の塗り壁。日本の伝統的な建物と、欧州の古くから受け継がれてきた民家のモチーフとが調和するこの絶妙なセンス、探していた読者も多いの

ではないだろうか。古くてもつくった人や使う人の人柄が伝わるモノたちが持つ温もりや雰囲気をおおしく感じ、歳月を経たなお魅力的な表情になる、またはそうなる可能性を持った住まいを好む人なら、きっとこの「風のくら」を気に入るはず。家づくりのヒントをたくさん見つけてほしい。

